

平成28年度 三田松聖高等学校・学校評価シート

学校 教育 目標	<p>&lt;基本方針&gt;</p> <p>校訓「不撓不屈、和敬協調、自律自学」の信念のもと、心身を錬磨し、優れた英知と豊かな情操を備えた、清く正しく強い、社会貢献のできる青少年を育成する。</p> <p>1. 「知・徳・体」の調和のとれた人格形成と育成を図り、生徒が生き生き・伸び伸びと活動する活発な学校づくりを推進する。</p> <p>2. 個に応じた教育活動を展開し、基礎・資本を確実に定着させ、生徒自ら主体的に判断し、行動できる資質や能力の向上を推進する。</p> <p>3. 家庭や地域との密接な連携を図ることにより、社会から信頼される学校、魅力ある学校づくりを推進する。</p>	重 点 目 標	<p>&lt;学校経営の重点&gt;</p> <p>「教育は人なり」である。生徒に「生きる力と学ぶ力」を身につけさせるため、熱意ある教育実践と真摯なる研修を積み重ねる教師集団づくりを図り、生徒との信頼関係を構築し、学校のさらなる発展を目指す。</p> <p>1. 生徒の多様な進路目標に応えるため、それぞれのコースの特徴をより伸張すると共に、組織的な教育計画を展開し、特色ある教育活動を推進する。</p> <p>2. 生涯にわたり、自らの目標に向かって主体的に学び続ける力をつけるために、教科指導はもとより学年・学級経営を充実し、生徒一人一人の能力と個性を伸ばす教育を推進する。</p> <p>3. 部活動や体験活動を通して、ふれあいを大切にし、互いを思いやり、自他の生命や人権を大切にする心の教育を充実させ、生徒の豊かな人間性や社会性を育む教育を推進する。</p> <p>4. 生徒の学びを支えるため、教員一人一人が教育者としての使命を認識し、専門家としての自覚を高め、日々の研究や研修を通して、幅広い視野と専門的な知識や指導力の向上に取り組む。</p>
----------------	--	------------------	--

達成度(5段階) < 5:よくできた ←————→ 1:できなかった >

学 校 自 己 評 価						学校関係者評価	
領域	評価の観点	評価項目	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校評価委員からの意見・要望・評価等	
教育課程	学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科の基礎基本学習を徹底</li> <li>自ら学ぶ主体的な学習指導</li> <li>生徒の学習意欲を高める指導</li> <li>進路達成に向けて応用力をつける指導</li> <li>個に応じた丁寧な指導</li> </ul>	1 電子黒板の導入により授業の巾が広がる 2 多くの授業参観をし、それを自らに活かした 3 発問を工夫し、思考し発言する力を上げた 4 入試に求められる読解力の養成に努めた 5 ステディアプリの活用が思いの外促進できず	3.5	小テスト、プリント学習などで基礎力の徹底を図る 校内外研修で研修を積み指導力の向上を図る 学習パターン、家庭学習の指導の徹底 生活に直結する実践力を身につける指導の徹底 学ぶ意識を実感できるより良い教材選択をする	電子黒板を活かし、視覚的でわかりやすい授業を期待する 基礎学力の向上を図り、大学進学後も頑張り続ける生徒を育てて欲しい	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>進路指導体制の充実</li> <li>キャリア教育の推進</li> <li>進路意識の向上</li> </ul>	6 進路部・教務部との連携と、ガイダンス業者の得意分野をうまく活用した進路ガイダンスを実施し、意識向上を図った 7 生徒が主体的に動き始めるのが遅い	アドバンス講座、特別講座のさらなる充実 サテライン、受験サプリの徹底活用の指導 最新情報の取得と伝達 高大接続改革に向けての指導強化	文武両道を目指して頑張してほしい 一般入試受験者のフォローに尽力してほしい		
	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導体制の充実</li> <li>規律ある学校生活の確立</li> <li>挨拶やマナーの向上</li> <li>生徒との信頼関係の構築</li> </ul>	8 運動部がリードし、爽やかな挨拶が出来た 9 校内の規範意識の徹底はできたと思うが、列車マナー等、校外において課題を残した 10 クラスの生徒と良い関係が築かれている	3.3	校則と社会ルールの関連性を説く トラブル(自転車事故・不審者)の対応を学ぶ 学年間での指導の差異が起これないよう調整する 日々の変化を掴むため、細かく生徒一人ひとりを見る。		全体として生徒の気質が年々向上している 以前に比べ生徒がおとなしいと感じる 指導の継続性と、教師と生徒の距離感を大切にしたい
	特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会活動の活性化</li> <li>部活動を通じた心の育成</li> <li>ホームルーム活動を通じての心の育成</li> </ul>	11 松聖祭ではクラスが団結して行事に臨めた 12 必修クラブ後も居残り、熱心に活動していた 13 集会時など常に見本となり、自覚が持てるように働きかけ、生徒はそれに応えてくれた	3.5	生徒の自主性を重んじる指導を大切にしたい 人間的成長を目標に生徒の意識改革をしたい 自発的な行動が苦手な生徒に対して、1年次よりリーダー性を育む指導法を模索したい	挨拶など継続してきたことが実を結びつつある 必修クラブ制の導入が成功している 顧問教員の負担が過重にならぬよう配慮が必要	
学校運営	学年経営 学級経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年経営体制の充実</li> <li>学年経営計画の充実</li> <li>学級経営体制の充実</li> <li>学級経営計画の充実</li> </ul>	14 主任・副主任を中心に適切に運営できた 15 厳しくかつ優しく、また時間をかけコミュニケーションを取り、クラスの状況は良くなった 16 月目標、生活目標を定め、高校生活の基礎となる指導を行い、生徒もよく応えてくれた	3.4	学級通信の発行回数を増やし、保護者等にクラスや学年の状況を理解してもらおう 毎日の問いかけにより、自覚をうながしたい 学級、学年がチームという意識を持たせる 計画性を持たせ、自主性が芽生えるようにしたい	公立校ない良さをもっとアピールすべき 転退学者数がひとりでも減少するよう努力してほしい 教員は教師力をさらにつけ、成長してほしい 教職員の働きやすい環境作りが大切である	
	校務分掌	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己の役割と実践的指導力の向上</li> <li>機能的な組織編成の充実</li> <li>諸課題について研修の充実</li> </ul>	17 ICT教育検討と研修会の参加を密に行った 18 報告・連絡・相談の徹底に努め、諸問題の検討と対策に速やかに取り組めた	3.6	想定外の事にも対応できる事例研究 課題ごとのプロジェクトによる検討答申 前例にとらわれない改革、組織編成を進める 優先順位と業務スケジュール管理の励行		
	保護者・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者アンケートの有効活用</li> <li>地域に奉仕する心の育成</li> <li>家庭や地域と連携した教育体制の充実</li> </ul>	19 家庭連絡を密にして、時には来校もしてもらい、話し合いを大事にした 20 地域部会やイベントに参加し考え方を学んだ 21 家庭連絡に苦慮することも多々あった	3.3	問題の分析と検討事項の具現化 校外清掃ボランティアや地域イベントに参加する 保護者・地域への情報発信と参加 文化祭における地域の方との交流を推進する		農作物を作り、地域の方々と交流をはかるのはどうか 学校と家庭、後援会の結びつきがより強くなればさらに学校が発展する